

2026 年 10 月 5 日

各 位

株式会社ほくほくフィナンシャルグループ

「道有林 J-クレジットを活用したカーボン・オフセット都市ガス」の導入
による脱炭素化の推進について
～北海道ガス株式会社と供給契約を締結～

ほくほくフィナンシャルグループの北陸銀行（頭取 中澤 宏）と北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、北海道ガス株式会社（代表取締役社長 川村 智郷）と、北海道内に拠点を置く企業として初めて（※1）、道有林 J-クレジットを活用した「カーボン・オフセット都市ガス」（※2）の導入に関する契約を締結し、あわせて記者会見を実施しましたので、下記の通りお知らせいたします。

（※1）2026 年 8 月 31 日時点。北海道ガス調べ。

（※2）カーボン・オフセット都市ガス：都市ガスを消費（燃焼）する際に発生する GHG 排出量をクレジットで相殺（オフセット）し、実質的に GHG 排出量をゼロとみなす都市ガスを指します。

記

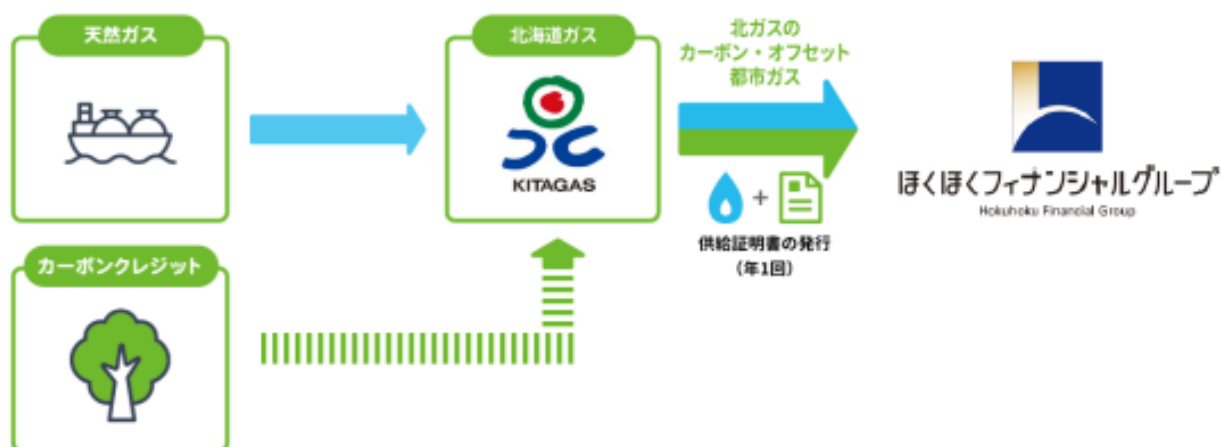
1. 契約目的

当社グループが脱炭素ロードマップで掲げる 2030 年度までに GHG 排出量（Scope1,2）実質ゼロという目標の達成に向けて、道有林 J-クレジット（※3）を活用し、北海道内の対象施設（47 拠点）で消費する都市ガスの GHG 排出量をオフセットすることを目的としています。

本取り組みにより、当社グループの GHG 排出量を年間約 310 トン実質的に削減することで、北海道内の環境価値を循環させる「環境価値の地産地消」と「脱炭素化」の実現を進めてまいります。

（※3）道有林 J-クレジットとは、北海道が管理する道有林の適切な森林経営によって吸収された GHG 量を、国が「J-クレジット」として認証した環境価値を指します。

2. 供給スキーム



3. 記者会見 <2026 年 10 月 5 日（月）14：00～14：30・北海道ガス本社>



（写真左から）

北海道ガス 代表取締役社長
川村 智郷
北海道銀行 代表取締役頭取
兼間 祐二
北陸銀行 常務執行役員
嶋田 慎吾

4. 該当する SDGs の目標



SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015 年に国連で採択された 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。
ほくほくフィナンシャルグループは 2019 年 4 月に「SDGs 宣言」を表明しました。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

ほくほくフィナンシャルグループ	成長戦略部	TEL(076)423-7331
北陸銀行	経営企画部サステナビリティ推進グループ	TEL(076)423-7111
北海道銀行	経営企画部サステナビリティ推進室	TEL(011)233-1009